



# EyeSpecial C-IV アイスペシャルC-IV



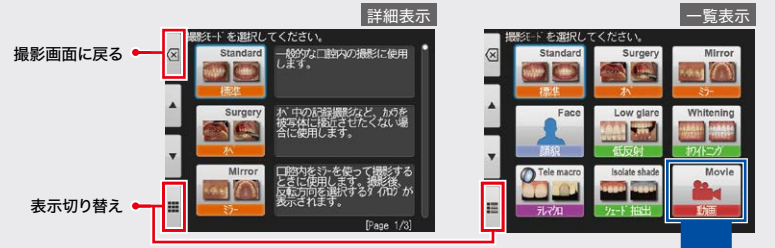
詳細については取扱説明書またはホームページをご参照ください。  
[www.shofu.co.jp/eyespecialc4/](http://www.shofu.co.jp/eyespecialc4/)



## 撮影を行う 1~5の手順に従い撮影を行なってください。

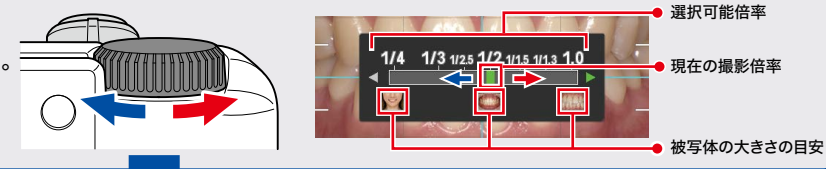
**1 患者情報を登録します。(任意)** ※患者情報の登録についての詳細については取扱説明書のP.14をご参照ください。  
次の手段で登録可能です。・テンキーでIDを入力する ・QRコードから読み取る(要他社ソフトウェアとの連携) ・カルテから患者の氏名を撮影する

**2 撮影モードを選択します。**  
(F1キー)を押すか、画面左上のModeタブをタッチするとモード選択画面が表示されます。撮影目的に合ったモードを選択してください。  
※各モードの詳細については「各モードについて」をご参照ください。  
※お好みの設定を登録し、カスタムモードから呼び出すことも可能です。詳細については取扱説明書(詳細編)のP.24をご参照ください。

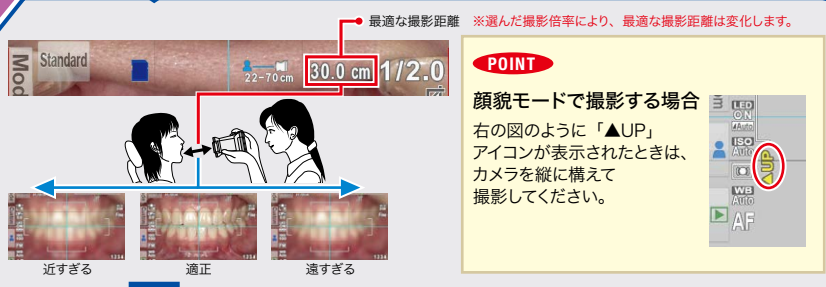


## 静止画を撮影する場合

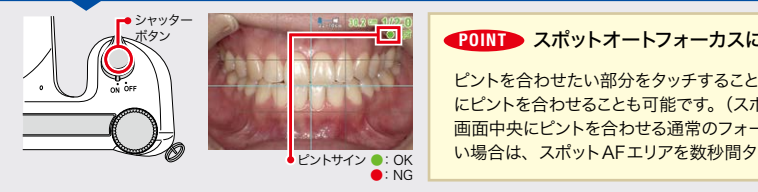
**3 撮影倍率を選びます。(静止画)**  
ダイヤルキーを回して、撮影倍率を選択してください。(タッチでは変更できません)  
選択可能倍率  
現在の撮影倍率  
被写体の大きさの目安



**4 撮影距離を合わせます。(静止画)**  
シャッターボタンを押さずに、液晶モニターに被写体が鮮明に映るように、カメラを前後に移動させてください。  
モニターに表示される「最適な撮影距離」を目安にしてください。  
POINT 顔貌モードで撮影する場合  
右の図のように「▲UP」アイコンが表示されたときは、カメラを縦に構えて撮影してください。

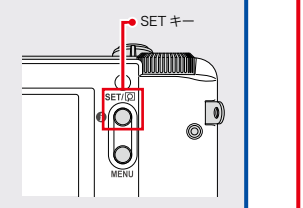


**5 撮影します。(静止画)**  
シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。ピントが合うと画面右上に緑色のピントサインが表示されますので、そのままシャッターボタンを押し込んでください。  
POINT スポットオートフォーカスについて  
ピントを合わせたい部分をタッチすることで、画面中央以外にピントを合わせることが可能です。(スポットAFモード)  
画面中央にピントを合わせる通常のフォーカス設定に戻したい場合は、スポットAFエリアを数秒間タッチしてください。



## 動画を撮影する場合

**3 録画します。(動画)**  
シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。ピントが合ったらSETキーを押して録画を開始してください。録画中にピントがぼやけた場合、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。録画を終了する場合はもう一度SETキーを押してください。  
※1動画の最大録画時間は10分です。



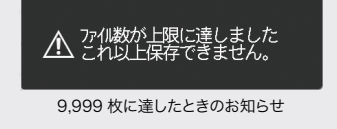
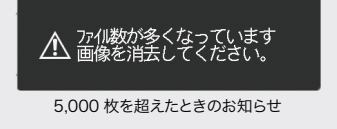
※撮影操作中に違うキーを押し、撮影モード以外の画面になってしまった場合は、シャッターを半押ししてください。

## 各モードについて

<b>Standard</b> 標準	<b>標準モード</b> 一般的な口腔内、口元などの撮影に使用します。	<b>Low glare</b> 低反射	<b>低反射モード</b> 前歯部の詳細撮影、模型、技工物を撮影するときに使用します。
<b>Surgery</b> 手術	<b>オペモード</b> オペ時のように、口腔内を離れた場所から撮影するときに使用します。	<b>Whitening</b> 初対面	<b>ホワイトニングモード</b> ホワイトニング治療前後の歯冠色の比較撮影に使用します。
<b>Mirror</b> ミラー	<b>ミラーモード</b> ミラーを使用して口腔内を撮影するときに使用します。撮影後、画像の反転を行うことも可能です。	<b>Tele macro</b> テレマクロ	<b>テレマクロモード</b> 前歯部や技工物、模型を拡大して撮影するときに使用します。※このモードで撮影する際は、あらかじめ付属のクローズアップレンズをカメラに取り付けてください。
<b>Face</b> 顔貌	<b>顔貌モード</b> 口元、顔貌、胸像、全身を撮影するときに使用します。	<b>Isolate Shade</b> シェード抽出	<b>シェード抽出モード</b> シェードテイク用画像を撮影するときに使用します。
<b>Movie</b> 動画	<b>動画モード</b> 動画を撮影するときに使用します。		

## 撮影可能枚数について

本器での管理可能な画像ファイル数は1カードあたり約9,999枚です。5,000枚を超えると起動時にお知らせが表示されます。9,999枚を超えると撮影できなくなります。



## 松風シュアファイルをご活用ください

本器で撮影した画像をPCに取り込む際に自動でフォルダ分けできるソフトウェアです。無料でお使いいただけますので是非ご活用ください。  
ダウンロードや詳しい説明はコチラ [www.shofu.co.jp/surefile/](http://www.shofu.co.jp/surefile/)  
※通常のSDカードを使用して松風シュアファイルに画像を転送させる場合は、あらかじめSDカードを本器でフォーマットしてください。

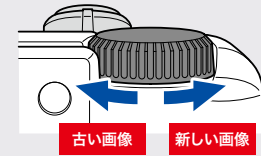
**SDカードのフォーマット方法**  
SDカードを本器に挿入する⇒MENU(MENUキー)⇒F4(F4キー)⇒タブ5⇒「SDカードのフォーマット」を選択  
注記  
・フォーマットを行うとプロテクトをかけた画像を含め、全ての画像データが消去されます。SDカード内に消したくないデータがある場合は事前にバックアップを取ってください。  
・無線LAN内蔵SDカードは本器でフォーマットしないでください。不具合が生じるおそれがあります。無線LAN経由でデータを転送する場合は本器でフォーマットを行う必要はありません。

## 撮影した画像を再生する

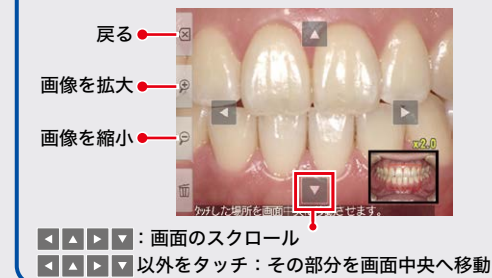


撮影画面で **▶** をタッチすると、再生モードに切り替わり、最も新しい画像が1枚表示されます。

再生中の画像を切り替えるには、ダイヤルキーを回してください。



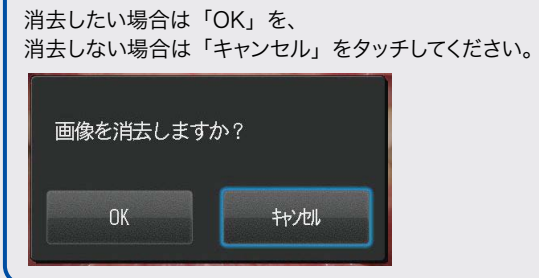
### 画像の拡大表示 ※静止画のみ



### インデックス表示



### 画像の消去

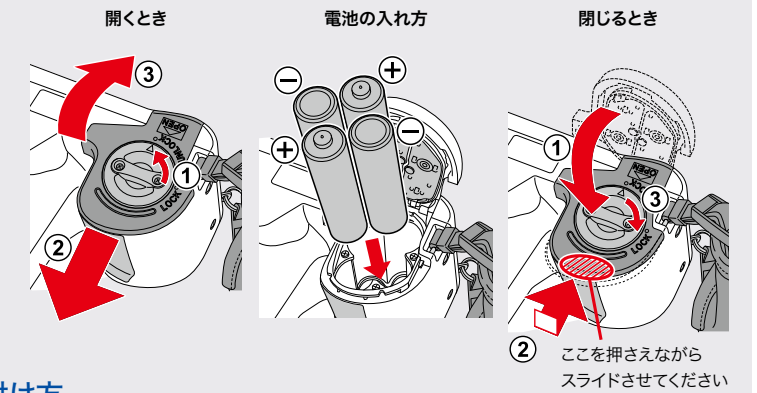


## 電池・SDカードの取り付け方

### 電池の取り付け方

#### 使用可能な電池

単3形電池 ×4 本  
(アルカリ乾電池 / 充電式ニッケル水素電池)

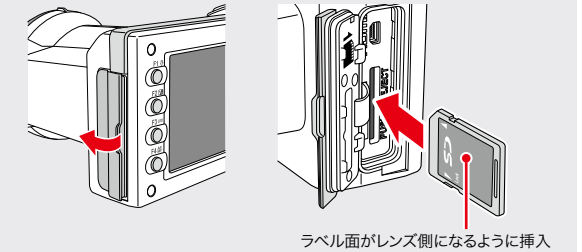


### SDカードの取り付け方

#### 使用可能なSDカード

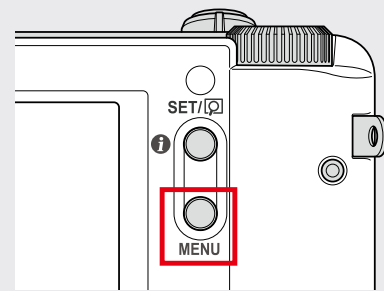


※ SD ロゴ、SDHC ロゴ、および SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



## 静止画の編集

画像再生時に MENU キーを押すと、次のような機能が使用できます。詳細については取扱説明書の P.33 をご参照ください。



### 3. プロテクト

誤った消去や編集を防ぐことができます。

### 1. ペイント タッチ操作で画像に直接線を描き込めます。



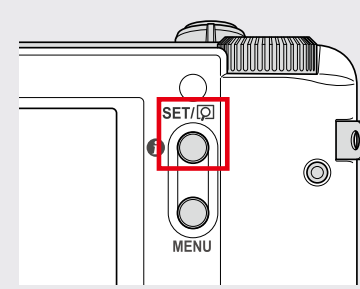
### 2. 画像の回転 画像を90度ずつ回転できます。



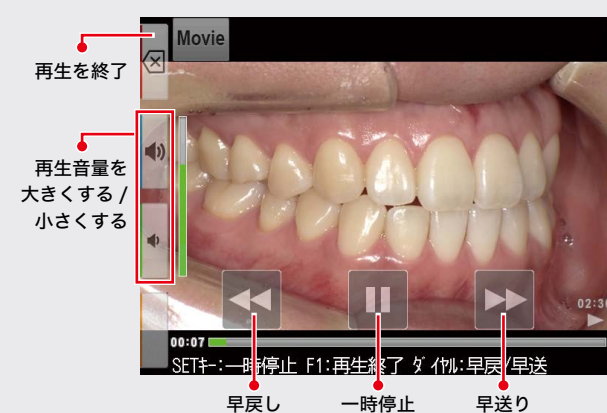
## 動画の操作

### ●動画を再生する

画面中央の **▶** (再生ボタン) または **SET/MENU** (SET キー) で再生を行います。



### ●動画再生中の操作



※動画の操作はカメラ本体のボタン、ダイヤルでも可能です。詳細については取扱説明書 P.35 をご参照ください。

## 撮影した画像を HDMI で出力する

- HDMIケーブルでカメラとモニターを接続します。
- カメラを再生モードにし、MENUキーを押し「HDMI」を選択します。
- モニターに再生モードの画面が表示されます。画像の選択や動画再生はカメラ本体で操作してください。

※ HDMI 出力中はカメラ本体の液晶モニターへの出力はできません。また、タッチパネルは使用できません。  
※ HDMI 出力中はインデックス表示やペイント、画像の回転など一部の機能は制限されます。

- HDMI出力を終了したい場合、カメラ本体のMENUキーを押し「LCD」を選択します。映像出力がカメラ本体の液晶モニターに切り替わったらHDMIケーブルを取り外してください。

※ HDMI ケーブルは市販品をお使いください。推奨品については取扱説明書 P.31 をご参照ください。  
※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

